



ニホンカモシカとは

① ニホンカモシカについて

ニホンカモシカは、国の特別天然記念物に指定(1955年)された希少な動物です。特別天然記念物とは、「天然記念物のうち、特に学術上の価値が高く重要なもの」として特別に指定されたものです。

九州地方では、熊本県、大分県、宮崎県の3県で生息が確認されており、生息数は、2020年には3県合計で約200頭(※1995年:約2,000頭)と推定され、絶滅の危機に瀕しています。

ニホンカモシカが減少している理由として、シカが増えすぎたことで餌となる草や低木などが減少したこと、シカ用の餌や防護柵にかかってしまうこと、皮膚病にかかって体力が低下することなどが考えられています。



撮影者:西邦雄氏

② 祖母・傾・大崩ユネスコエコパークとニホンカモシカ

ニホンカモシカは祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク内にも生息が確認されており、この地域の希少な動植物のシンボルとして、ロゴマークに使用されています。



ロゴ内の4つのマークはそれぞれ、祖母山の「S」=(水)、傾山の「K」=(山)、大崩山の「O」=(守り継承する心)、ニホンカモシカを表しています。さらに、ユネスコエコパークの構成6市町を意味する緩やかな六角形で全体を包み込み、自然と人々の調和した暮らしを表現しています。

③ ニホンカモシカの特徴

科	ニホンカモシカ ウシ科(牛の仲間)	と シカ シカ科(シカの仲間)
角の違い	●牛のようなとがった角が、オスにもメスにも生える。 ●角は一生伸び続け、「角輪(かくりん)」と呼ばれる、へこんだ輪ができる。	●枝分かれした角が、オスだけに生える。 ●角は1年間伸び続け、1年ごとに生え変わる。
見た目の違い	●足は短く、ずんぐりしている。 ●毛がふさふさしている。 ●体色は1年中黒っぽい。	●足は長く、すらっとしている。 ●毛は短い。 ●体色は季節によって違う。
生活の違い	●ほとんどが単独で生活する。子どもが小さい時は、母親と2頭で行動する。 ●「なわばり」を作り、その中で生活しながら、子どもを育てる。	●オスのグループとメスのグループで生活する。 ●「なわばり」は作らず、グループで広い範囲を移動する。



体長:約90~110cm/体重:30~45kg/体毛:灰色や灰褐色など

④ ニホンカモシカのためにわたしたちができること

生息地を追われたニホンカモシカが、山から人里近くまで下りてきています。ニホンカモシカを守るために、美しい自然の中で共に生きる者として「私たちができること」を実行に移しましょう。

●私たちができること①

ニホンカモシカを見かけたときは、発見場所を近くの市町村窓口まで御連絡ください。目撃情報は調査を行う上で非常に重要な情報となります。

※可能であれば写真・動画を撮影ください。

●私たちができること②

交通事故や餌でケガをしたニホンカモシカを目撃したときは、すぐに市町村窓口まで御連絡ください。

猟師の皆様へ

設置した「くくりわな」にニホンカモシカがかかってしまうことがあるため、毎日点検するよう心がけてください。また、罠にかかったニホンカモシカを発見したときは、できるだけ早く市町村窓口まで御連絡ください。

放獣作業は危険を伴いますので、1人だけでは絶対に行わないでください。



発見時の連絡先

【大分県】

佐伯市教育委員会 社会教育課 ☎0972-22-4234
竹田市教育委員会 まちづくり文化財課 .. ☎0974-63-4818
豊後大野市教育委員会 社会教育課 ☎0974-24-0040
臼杵市教育委員会 文化・文化財課 ☎0972-86-2725

【宮崎県】

延岡市文化財・市史編さん課 ☎0982-22-7047
日之影町教育委員会 ☎0982-87-3807
高千穂町教育委員会 ☎0982-73-1205

ニホンカモシカの /
目撃情報は下記でも受け付けています

大分カモシカ情報ホットライン



宮崎県教育庁
文化財課

☎0985-26-7250
E-mail: ky-bunka@pref.miyazaki.lg.jp